

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	第1回中津川市介護保険運営協議会
開催日時	令和6年7月8日（月） 14時00分～15時30分
開催場所	中津川市健康福祉会館 3階 第一研修室
出席者の役職名	委員：恵那医師会代表・訪問看護事業者代表・老人保健施設代表・老人福祉施設代表・居宅介護支援事業者代表・居宅介護支援事業者代表・ユニオンネット中津川代表・被保険者代表・社会福祉協議会代表・民生委員児童委員協議会連合会代表・介護相談員代表 事務局：市民福祉部長・市民福祉部次長（福祉担当）・高齢支援課長・高齢支援課長補佐（2名）・介護保険課長・介護保険課長補佐・介護保険課介護保険係長・介護保険課主任主査
傍聴者	なし
話し合われた内容（会議録又は審議概要）	別紙
会議資料	（添付ファイル）
次回開催予定日時	未定
次回開催予定場所	未定
所管部課	市民福祉部介護保険課

欠席者 区長会連合会代表
老人クラブ連合会代表
東濃地区労働組合協議会代表
被保険者代表

令和6年度 第1回中津川市介護保険運営協議会

令和6年7月8日（月） 14:00～15:30
健康福祉会館 3階 第一研修室

進行：介護保険課長

1. 委員委嘱

2. あいさつ

副市長： 皆様、改めましてこんにちは。

副市長の今井と申します。

本日はお忙しい中、令和6年度第1回介護保険運営協議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

また日頃より、赤座先生をはじめ運営協議会の皆様には、中津川市の医療介護福祉を守るためにご尽力いただきますとともに、市政にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年の1月には、小栗市長が誕生し、新しい市政がスタートしましたが、福祉医療の分野では、市長公約の3本柱の1つであります、『安心づくり』の中で、『人生100年時代を幸福に過ごす取り組み』を位置付けており、持続可能な介護保険制度の確保についても、重点を置いて事業を進めて参りますのでよろしくお願いいたします。

本日は、任期満了に伴いまして先ほど委員の委嘱を行わせていただきました。

再任の方が7名と聞いております。引き続きよろしくお願いいたします。

また半数以上の8名の方が、新しく委員に就任していただくということで、とりあえず2年間の任期になりますが、よろしくお願いいたします。

また本日は議題として、中津川市の高齢者保健福祉、介護保険の現状など、5議案についてご審議いただきたいと思います。

長時間になりますが、よろしくお願いいたします。

3. 会長、副会長の選任

4. 会長、副会長のあいさつ

会 長： 皆様こんにちは。

引き続き、会長を仰せつかりました、恵那医師会長の赤座でございます。

よろしくお願いいたします。

介護のニードというのは、中津川市、恵那市もそうなのですが、今後20年間ほぼ横ばいだというふうに、一応2020年の国勢調査からする人口推計によって予測されています。

今後およそ20年、2045年ぐらいまで、当該地域の介護のニーズは同じというふうに考えています。

したがって、現状が維持できれば、この地域の、介護のサービスというものはですね、多分ソフトランディングできるのだろうというふうに考えられます。

しかし大きな問題は、この介護を支える労働生産人口というのがどんどん減っていくということです、リソースがどんどん減っていくので、そこをどうするかということが最大の問題になります。

システムとしては、我々の本当は行政も非常に一生懸命考えていただきまして、地域包括、いろんなことでも随分いろんなことが、システムはできています。

ただ、人材がこれからどんどんどんどん減っていくということが、これはどうしても避けられないと思います。

これに対して、ここで話しているだけではないのですけども、ここではいろんな計画が策定できるわけですが、その実行するにあたってのそのリソース、これに対しては、本当官民挙げて、特に行政の方のお手伝いをいただいてですね、何とかさせていかなきゃいけないというふうに思っておりますので、それが本当に一番の問題だと思っております。

そういう問題を抱えながらですね、少しでもいい介護が維持できるようにと思っておりますので皆様方、ご協力の方、よろしくお願いいたします。

副会長： 皆さんこんにちは。

ただいま本協議会の副会長を仰せつかったわけでございますけれども、赤座会長さんとしっかり連携をとってですね、しっかり補佐していればいいのかというふうに思っておりますので、委員の皆様方のご協力をよろしくお願いしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

5. 介護保険運営協議会について

資料 1

6. 議題

(1) 中津川市の高齢者保健福祉・介護保険の現状について

資料 2

<事務局説明>

会 長： ただいまの事務局の説明について、各委員さんのご意見、ご質問は、ございませんでしょうか。

ちょっと質問させていただきますが、8 ページのですね、要介護認定数の数字がこの令和 4 年からちょっと下がってきているのは、これはどういう理由が考えられるものなのでしょうか。

事務局： 一昨年までの分析では、新型コロナの影響によりまして、認定申請行為自体をちょっと控えたのではないかなというような分析をしていたところなのですが、引き続き令和 5 年度についても、横ばいに近い、どちらかというと減という形になってしまいました。

こちらについてはまだちょっと市としても分析ができておりませんので、原因について、今後いろいろな他のデータ等を参考にしながら、原因を探っていきたいと考えております。

会 長： これはそうなのですね。また増えるのかと思ったら増えてないということと、実はいろんなところで各市町村他のところでも、コロナの影響で、何年かと進んでしまったじゃないかっていう、例えば超過死亡との関係もどう考慮しなきゃいけないかもしれませんけども、何か病院の外来の数とか総じて、医療介護のニーズが思ったより減っているというのはやっぱり聞いているものですから、この辺ちょっといろいろと詳細を検討する必要があるのかなと思いますね。

あと問題としては、現実問題としては、高齢世帯と、あとは高齢独居の方が増えていると。

ボリュームとしては、変わらない、ほぼ横ばいなのですが内容がそういうことで、より介護のニーズが高くなってくるということが、これから考えられるということですね。

(2) 地域支援事業について

資料 3

<事務局説明>

- 会 長： この件につきましてご質問ご意見等ございませんでしょうか。
ちょっと1つ質問なのですが、地域支援事業ってね、包括的支援事業と、これ地域包括支援センター、が独自でやっていることもあるし、行政として全体的にもやっていることとかその辺の分け具合ってどういうふうな、どんな塩梅になっているのですか。
- 事務局： 包括的支援事業の中には今会長の言われたように、地域包括支援センターが行っているものと、あと市として行っているものと両方ございます。
特に地域包括支援センターとして行っているものは、総合相談であったり、虐待防止、あとケアマネ支援、そのあたりを中心にやっております。
あと、認知症に関しても各センターでも行っておりますし、市として中心的に支援をしている部分もございます。
あと医療との連携であったりとか、そういう部分は、市として行っていたりとか、生活支援の体制整備事業につきましては、市が中心となって行っている部分になります。
- 会 長： 何かあったら、とにかくもう包括ケアセンターに相談してねっていうスタンス。
まだこれちょっと全部浸透はしてないのですが、
各センターに相談してくださいという中で、これはうちでできなくて、市の方だとか、市の方では、これは包括支援センターで対応します、ですとか、ワンストップにならなくて、利用者さんや地域の方々が混乱することはあってはいけないと思いますので、ちょっとわかりやすく、相談の窓口としてはもう、相談の窓口はどちらに行くべきとか、その辺が明らかになっていると、市民にとってやさしいのかなというふうに思いましたので質問させていただきました。

(3) 第8期介護保険事業計画の評価について

資料 4-1 ～ 4-3

<事務局説明>

- 会 長： ただいまの事務局の説明について、ご意見ご質問はございませんでしょうか。
多岐にわたった事業を行われているわけでございますけれども、これのスタッフとか、今のところ、十分に足りているっていうか、本当は足りていなくて、もっとやりたいけど、足りないのだとかそういうところの実情はどういうふうなんでしょうかね。
- 事務局： 今のご質問は、行政のスタッフとのことなのでしょうか
- 会 長： 総じてで、お願いします。
- 事務局： 行政の方で把握している介護人材については、基本的にはどこの事業所についても不足していると捉えています。
それも大きく不足しているっていうふうに、認識しております。
それについて何かをしなければいけないというところですが、まだ8期の計画には反映していなかったのですけれども、今年度から事業所への体験と、介護の仕事の嬉しさ、楽しさ、やりがいを感じていただくというイベントの企画を今、考えております。
そういったものを通じて、少しでも介護人材の不足を解消できたらということで、まず小さな1歩ではございますが、そのような形で今事業を進めているところです。
- 会 長： 現状からみてオーバーワークになっているってことですかね。
これだけの項目を掲げられて、PDCAを回そうということを目的とすると、かなり皆さん方に、ストレスになっているってことなのでしょうか。
実態はどうなのですかね。
そうでなければいいのですが、実際どうなのですかね。

事務局： すいません高齢支援課長の土井と申しますよろしくお願いします。

例えば包括支援センターの運営のことでちょっとお話を差し上げますと、基本的には人口とか各地区の人口割でこういう人を配置してくださいよというような規定がございまして、それに従っての配置はさせていただいております。

ただ、包括支援センターの運営の中で、話も出てきていますけれども、高齢者の世帯が多くなってきているとか、人口が横ばいの割にはそういう数が多くなってきているとか、独居の数が多くなってきているとかってということで、相対的に難しい、なかなか家族内で支援をして完結できない世帯が増えているという難しい世帯が増えてきているという現状は、あるかなというふうに実感しています。

そんな中で、各支援センターが相談を受ける相談っていうのもなかなか難しい、生活困窮や 8050 の家族の支援という、かなり難しい支援を迫られているところがありますので、そういった中、今おっしゃっていただいたストレスとかそういうものは職員に結構かかってきている状態かなというふうには感じています。

包括支援センターにつきまして、在宅介護支援センターも含めて、月 1 回程度ですね、連絡会等も設けていまして、意見交換会っていう形で、意見交換を密に行っている体制はとっておりまして、ケースごとに、ですね、必要があれば担当者が集まってケース会議をやるとか、1 つのセンターが、それで悩みすぎないようにというか、みんなで共有しながら経験値もふやしてもらうというようなところで 1 件でも多く、対応できるようにというような工夫もしながらですね、そういった不足の方も補っていったらなというふうで今実施しているところです。

会 長： あともう 1 点ですが、69 番ですね介護人材の確保というところで、ちょっと残念かなと思ったのは学生さん 1 名について、他市の介護事業所へ就職したので返還請求を行ったというところ。

恵那も中津川も 1 つのエリアとして、何か着地できると、良いのかなというふうに思ったのですね。

また、土岐、多治見でなくて、この恵那地域ということから考えて、両市の中で、何かできると良いかなと思ったものですから、そこをちょっと何か検討材料として挙げていただけるとありがたいかなと思いましたので、一言、気になったことを述べさせていただきました。

委 員： 施策番号も 53 番ですが、第 2 層の生活支援コーディネータについて、既にできているかなと思っていたのですが、できていないっていうところは、何処なのですか。あと 2 地区できてないというなお話でしたかね。

事務局： 生活支援コーディネータは、15 地区に 1 人ずつはおります。

ただ兼ねているものはございまして、東と苗木が同じ職員がやっていると、あと落合と神坂が同じ職員がやっておりますがそれぞれで活動はしております。

委 員： そういうことであれば、二重丸ではないでしょうか。

事務局： ありがとうございます。

もう少し活動内容が濃くなるというかなというところで、一重の〇とさせていただきました。

基準は満たしているところでございます。

(4) 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に係る
地域密着型サービス事業者（公募）について

資料5

<事務局説明>

会 長： この1番については、決まったので、2、3、4については、まだ公募中ということ
いうことですね。

事務局： はい、応募事業者がありませんでした。

(5) 地域密着型施設等の指定更新について

資料6-1 ～ 6-4

<事務局説明>

会 長： 1点お願いします。資料の、6-2の「こまんば」さんのところですけども、協力医療機
関、中津川市病院と城山病院が挙がっておりますけども、城山病院は内科総合病院でご
ざいませんで、修正をお願いいたします

事務局： 修正させていただきます。失礼いたしました。

会 長： ほかに、ご質問もごないようでございますのでこれをもって本日の議題の審議等すべ
て終了させていただきます。

皆さんご協力ありがとうございます。

事務局： 長時間にわたり、赤座会長には議長を務めて頂きまして、誠にありがとうございました。

それではレジメの7番のその他のところになります。

次回の協議会ですけれども、事務局にてまた日程を調整しまして、後日ご案内を申し
上げますので、またその折にはよろしくお願いいたします。

その他、ご意見、ご質問は全体を通してございませんでしょうか。

それでは、閉会の言葉を三浦副会長をお願いいたします。

副会長： 本日、私達、委嘱書を受け取ったわけでございますけれども、この運営協議会をです
ね、しっかり目的に沿った趣旨で進めていくということで、引き続きですね、赤座会長
を中心に、しっかり取り組んでいきたいと思っておりますので、皆さんのご協力をよろしくお
願いしたいと思っております。

また最近は大変暑い日が続いておりますので、熱中症などにかからないように、皆
様方におかれましてはですね、体調管理には十分ご留意いただければありがたいかと、
思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは以上をもちまして、令和6年度の第1回の介護保険運営協議会を閉会とさせて
いただきます。

本日はどうもありがとうございました。

ご苦勞様でございました。

[閉 会]